

平成27年7月3日

四日市市保健所

感染症の発生について(情報提供)

【概要】

市内医療機関から腸管出血性大腸菌(O157)感染症の発生届が当保健所にありました。
内容につきましては、下記のとおりです。
これは感染症法第16条に基づく発生動向情報であり、感染予防について呼びかけるものです。

病名	腸管出血性大腸菌(O157)感染症
年齢及び性別	81歳・男性
職業	無職
住所	四日市市
発病年月日	平成 27年 6月 30日
診断年月日	平成 27年 7月 3日

【患者発生の経過】

6月 30日 夜間、腹痛あり。
7月 1日 腹痛あり、血便認めため市内医療機関を受診、入院治療開始。
入院後、水様便(5回/日)、血便あり。
7月 2日 水様便(4回/日)、血便持続。
7月 3日 7月1日の検便結果が判明し、腸管出血性大腸菌(O157)感染症と診断。

7月3日現在、患者は下痢、血便の症状があり入院治療中です。

【防疫措置】

家族・接触者の健康状況調査及び検便の実施

【四日市市内の腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】

平成27年1月1日～平成27年7月3日現在までの本件含む ()内は三重県内の発生

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
患者	6 (31)	12 (50)	6 (44)	5 (39)	2 (7)
保菌者	9 (19)	3 (24)	7 (18)	1 (19)	2 (2)
計(感染症)	15 (50)	15 (74)	13 (62)	6 (58)	4 (9)

【自分で出来る予防対策】

1 予防の3原則

①加熱(菌を殺す)

この菌は熱に弱く、75℃、1分間の加熱で死滅します。
肉の生食は避けてください。特に子どもや高齢者は注意してください。
ひき肉は、十分に加熱をしましょう。
焼肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。
井戸水は、煮沸してから飲んでください。

②迅速・冷却(菌を増やさない)

調理した食品はすぐに食べましょう。

③清潔(菌をつけない)

手指や調理器具は十分に洗いましょう

2 暴飲暴食は避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保ってください。

3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けてください。

連絡先

四日市市保健所 保健予防課(059-352-0594、059-352-0595)

担当： 久志本、松浦